

みずほの教育

MIZUHO BOARD OF EDUCATION



令和2年(2020)2/1
第33号(年3回発行)
編集・発行: 瑞穂町教育委員会
〒190-1292 瑞穂町大字箱根ヶ崎2335
TEL 042-557-6682 FAX 042-557-2693
<https://www.town.mizuho.tokyo.jp/>



人と人が かかわり合って 文化・教養をはぐくむまち みずほ

瑞穂町教育委員会 文部科学大臣表彰を受賞

キャリア教育優良教育委員会として、瑞穂町教育委員会が文部科学大臣表彰を受賞しました。

<受賞理由>

自治体の特徴に合わせた職場体験事業を実施することで、生徒一人一人に望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるとともに、教育課程の中で「ふるさと学習『みずほ学』」として位置付けて推進している。

1 教育課程に明確に位置付けた「ふるさと学習『みずほ学』」の推進

職場体験学習を推進するために、教育課程上に職場体験学習を位置付けるだけではなく、「ふるさと学習『みずほ学』」の一環として、原則瑞穂町内での職場体験を実施している。生徒は、職場体験学習を行う前に、ふるさと瑞穂町について様々な場面で学習していることで、自分の町に愛着をもち、活動をすることができている。また、瑞穂町内で実施することで、事業所の全面的な協力を得ることができ、5日間の職場体験学習を実施している。

「ふるさと学習『みずほ学』」では学習を「知る」→「関わる」→「する」の段階で分け、生徒の発達段階にあった学びを提供している。事前学習で事業所のことを「知り」、5日間の体験で「関わり」、職場体験学習実施後に次の「ふるさと学習『みずほ学』」の場面で自分たちでできることを「する」学びを行っている。

2 町部局と連携した職場体験学習の実施

町各部局で生徒の受け入れをすることに加えて、農業、工業、商業の事業者との連携においては産業課の協力を得ている。また、教育委員会部局においても受け入れと同時に、受け入れを効果的にするために、プログラムの改善(学校へのフィードバック)を行っている。このことにより、各事業所に依頼するだけではなく、よりよい職場体験学習の実施に向けた有機的な連携を進めている。

今後も、各教科、道徳科、総合的な学習の時間及び特別活動をとらして、特色ある学び「ふるさと学習『みずほ学』」を進めていきます。



みずほっ子目標

- み みずから学び 考えるひと
- ず すすんで社会とかかわる 心豊かなひと
- ほ ほがらか 明るく 元気なひと

児童・生徒数(令和2年1月1日現在)

単位:人

一小	二小	三小	四小	五小	小学校計	瑞中	二中	中学校計	小・中学校合計
382	231	305	405	222	1,545	450	388	838	2,383

小学校研究発表会

●瑞穂第三小学校（11月8日）

当校は、瑞穂町教育委員会校内研究推進校の指定を受け、平成29年度から3年間、生活科・総合的な学習の時間の教科等で「学習の見通しをもち、協働的に学ぶ児童を育てる指導の工夫」を主題として研究を進めてきました。

この研究では、特に「協働的に学ぶ」ことを主題の中で示し、令和2年度から小学校で進められる新しい学習指導要領で掲げられている「社会に開かれた教育課程の実現」と深い関係があり、社会と連携・協働する大切さにつながっていました。三小の児童を含め瑞穂町の子どもは、将来ふると瑞穂町のみならず、広く日本の中で、あるいは国際社会で活躍することが期待されています。学校で様々な課題をつかみ、学んだことを生かし、協働的に解決していくことにつながっていく有意義な研究でした。今後は、教科等の時間での展開が期待されます。

当日は、全学年で授業公開が行われ、先生の話だけでなく、児童が見通しをもって主体的に学ぶ様子が多くみられました。また、児童が色々なことに気付く場面も設定されていました。(写真①)

授業公開後の研究発表は、研究成果の普及を促進するために全体説明だけでなく、三小の先生たちが築き上げてきた、「生活科」「考えるための技法の活用」「地域の人たちとつくる授業」のテーマに分かれて瑞穂町の先生が発表・協議も行いました。(写真②)

地域と連携した授業では、特にこれからの学校教育を充実させていくために必要であることが浮き彫りになってきました。今後とも学校教育への協力をよろしくお願いします。



写真①



写真②

●瑞穂第二小学校（12月6日）

当校は、瑞穂町教育委員会校内研究推進校および東京都プログラミング教育推進校の指定を受け、研究主題を「プログラミング的思考を活用した論理的思考力の育成」とし、平成30年度から2年間の研究を進めてきました。

この研究では、来年度より始まる「プログラミング教育」を取り上げていることもあり、町内の教員にとって、関心の高い内容でした。新しい小学校学習指導要領では、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の育成がうたわれています。予測できない変化に対し、主体的に向き合い、自らの可能性を発揮することが求められる、これからの社会に必要な力です。現代の教育課題に正対した内容であり、有意義な研究となりました。

当日は、第1学年の電子機器を使わなくてもできるプログラミング学習の活動から、中学年では、パソコン上でキャラクターを動かす活動(写真③)、高学年では、パソコンでプログラムを組んで機械を動かす活動へと、学年の段階に合わせた授業を公開していました。どの学年にも共通していたことは、学習課題を解決するために、試行錯誤しながら取り組んでいる姿が見られたことでした。また、友達と意見を交換しながら進める場面もあり、協働的な学習活動を行っていました。

授業公開後の研究発表では、授業実践の発表のほか、プログラミングの技術を身に付けるのではなく、論理的に考えていく力(プログラミング的思考力)を育てていく学びであることに触れ、参加している教員の理解をさらに深めていました。プログラミング教育は、教科等との関連の中で行うものです。これからも教科学習を土台とした論理的思考力の育成を進めていくことを期待しています。



写真③

中学校伝統芸能鑑賞教室「鼓童」

9月25日に中学校伝統芸能鑑賞教室が開催され、新潟県佐渡島に拠点を置く太鼓芸能集団「鼓童」の舞台を鑑賞しました。各中学校の体育館での開催のため、迫力のある太鼓の演奏を間近で鑑賞することができ、伝統的な和楽器による音楽芸能の魅力を感じてもらいました。



瑞中吹奏楽部 東日本学校吹奏楽大会で活躍しました

10月12日に石川県金沢市で第19回東日本学校吹奏楽大会が行われ、瑞中吹奏楽部が東京支部代表として出場しました。

大会当日は、日頃の練習成果を發揮し、代表として立派な演奏を披露しました。



親子タグ・ラグビー大会

12月14日、瑞穂第一小学校で親子タグ・ラグビー大会を実施しました。タグ・ラグビーは、ラグビーのルールを生かしていますが、タックルのかわりに腰につけているタグ（ひも）をとられると前に進めなくなり、味方にパスをしなければいけないルールのゲームです。瑞穂町の小学校ではタグ・ラグビーの授業が行われており、今回は参加を希望された親子10組（20名）の方に参加していただきました。

令和元年、ラグビー・ワールドカップが日本で開催されましたが、その盛り上がりを生かし、親子でタグ・ラグビーを楽しんでいただきました。3チームに分かれ、仲間・ライバル関係なく声援を送る光景も多くみられました。

そのような中、日本ラグビーフットボール協会の協力を得て、素敵なゲストを招くこともできました。トップリーグのパナソニック・ワイルドナイツに所属する浅沼樹羅選手、同チームOBの水本竜弥氏が、参加した親子とパスなどもすることがありました。浅沼選手はルーキーで、今後、日本を背負う活躍が期待され、水本氏は現役引退後、ドラマ「ノーサイド・ゲーム」に出演されています。貴重な経験を積むことができました。

運動する楽しさを通して、体力の向上に今後も取り組んでいきます。なお、2月15日は、熊谷ラグビー場に行きトップリーグ観戦を予定しております。



第11回中学生「東京駅伝」大会に出場します

2月2日に、アミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園特設周回コースを会場として、第11回中学生「東京駅伝」大会が開催されます。この大会は、中学校2年生の選抜メンバーによる区市町村対抗の駅伝競走大会です。男子は42.195kmを17人、女子は30kmを16人で走ります。

11月21日には結団式が行われ、町代表として男女各21名、合計42名に大会出場の認定証が渡されました。選手一丸となって頑張りますので、応援よろしくお願いします。

- 日時 2月2日（日）
女子の部スタート 午前10時 男子の部スタート 午後1時
- 会場 アミノバイタルフィールド（味の素スタジアム内）
都立武蔵野の森公園特設周回コース（最寄駅：京王線飛田給駅）
- 出場選手（敬称略）



男子				女子			
氏名	学校名	氏名	学校名	氏名	学校名	氏名	学校名
阿久津 裕輝	瑞中	小野 愛斗	二中	大澤 希果	瑞中	田嶋 咲希	二中
池田 悠生	瑞中	佐伯 瑠稀亜	二中	菊池 咲菜	瑞中	丹生 光咲	二中
河野 亮太	瑞中	高木 琉世	二中	佐藤 明日可	瑞中	永井 夢華	二中
笹生 悠太	瑞中	高橋 永護	二中	島村 紅愛	瑞中	野澤 花梨	二中
渋谷 龍輝	瑞中	田所 聖海	二中	橋本 侑果	瑞中	羽賀 世梨香	二中
橋本 匠真	瑞中	田中 亮太	二中	堀江 鈴	瑞中	古澤 愛	二中
古川 遼太郎	瑞中	松浪 太一	二中	茂木 見純	瑞中	町田 佳音	二中
本山 大貴	瑞中	三木 将明	二中	小野 心寧	二中	矢ヶ崎 藍莉	二中
森田 悠月	瑞中	宮寺 悠希	二中	岸口 珠姫	二中	吉積 麻弥	二中
有岡 光輝	二中	若尾 蒼空	二中	佐藤 実香	二中	渡邊 萌香	二中
内山 健太	二中			島田 夢果	二中		

令和元年度 学校給食に関するポスターコンクール審査結果

給食センターでは、学校給食や食について広く啓発を図るため、ポスターコンクールを実施しています。

(共催：東京都学校給食会)

今年度は羽村市、瑞穂町の小・中学校に在学する児童・生徒から421点の応募をいただきました。審査の結果、最優秀賞4点(瑞穂町から1点)、優秀賞

4点(瑞穂町から1点)、入賞21点(瑞穂町から8点)合計29点が決定しました。

最優秀賞作品を掲示した給食配送車が瑞穂町内を走りますので、ぜひご覧ください。

瑞穂町からの受賞者は、次のとおりです。(敬称略)

最優秀賞

吉澤 琴音
(五小6年)

● 優秀賞 ●

田中亜香里
(三小4年)

● 入賞 ●

比留間未織 (一小2年)	村山 結花 (四小4年)
池田 幹太 (一小2年)	高橋 来春 (二中1年)
芦野 千花 (四小3年)	鈴木 成嘉 (二中1年)
須長 千成 (四小4年)	池田 彩 (二中1年)



詳しくは「羽村・瑞穂地区学校給食センター公式サイト」(<http://www.kyushoku.or.jp>)をご覧ください。

【問合せ 羽村・瑞穂地区学校給食センター 給食課管理給食係 ☎554-2084】

中学生の職場体験

次代を担う中学生が社会の一員としての自覚を持ち、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身につけることを目的として、各中学校の2年生および特別支援学級在籍生徒が、町内・近隣市の事業所で5日間の職場体験を行いました。ご多忙の中、生徒を快く受け入れ、丁寧にご指導いただきました事業所の皆様に、心から御礼申し上げます。

● 令和元年度職場体験協力事業者 (50音順・敬称略)

IHI瑞穂工場 / ASTA AVEDAイオンモールむさし村山店 / あすなる児童館 / イオンモールむさし村山 / 石畑保育園 / ヴィクトリアイオンモールむさし村山店 / 牛浜ペットクリニック / 介護老人保健施設菜の花 / ケーズデンキ青梅店 / 玄聖 / 耕心館 / 高齢者福祉センター寿楽 / コジマ×ビックカメラ福生店 / サイゼリヤ西友福生店 / ザ・モールみずほ16 / 狭山保育園 / システムプランニング / しまむら青梅新町店 / シャンブル青梅店 / ジョイフル本田瑞穂店 / すき家青梅新町店 / すき家16号瑞穂南平店 / すき家ジョイフル本田瑞穂店 / 西友福生店 / セントラルフィットネスクラブ西東京 / 高木病院 / 高沢病院 / TSUTAYA福生店 / 土谷自動車 / デニーズ瑞穂店 / 東京都農林総合研究センター / 特別養護老人ホーム大洋園 / 特別養護老人ホームフラワープラム / 特別養護老人ホーム不老の郷 / 特別養護老人ホームみずほ園 / とのがや保育園 / 長岡保育園 / 西多摩自動車学校 / 西の風新聞社 / ニトリ瑞穂店 / 日本亭 / 貫井園 / 野崎生花店 / 羽村たつの子保育園 / 東松原保育園 / びっくりドンキー瑞穂店 / ファミリーマート瑞穂駒形店 / 富士みのりこども園 / 福生消防署瑞穂出張所 / フレッシュランド西多摩 / ベイシア青梅インター店 / ベルク青梅今井店 / マルフジ福生店 / 瑞穂ケーブルテレビ / みずほ食彩工房 / 瑞穂町立小学校 (一小・二小・三小・四小・五小) / 瑞穂のぞみこども園 / みずほひじり保育園 / 瑞穂町教育委員会 (社会教育課) / 瑞穂町郷土資料館 / むさしの保育園 / 武蔵村山病院 / 弥生保育園 / 吉重園芸

東京都教育委員会表彰

●受賞者（敬称略）

学校名	学年	氏名	主な活動内容・成績
三小	3年	堀澤 橙	第43回全国学生書写書道展 席書の部 学年優勝杯（3年）

令和元年度 瑞穂町文化賞、スポーツ優秀賞・奨励賞

●受賞者（敬称略）

賞	種目	氏名・団体名	主な活動内容・成績
文化賞	研究発表	都立瑞穂農芸高等学校 食品研究部	○東京都学校農業クラブ連盟プロジェクト都予選会 最優秀賞 ○第70回関東地区学校農業クラブ連盟大会 優秀賞
スポーツ 優秀賞	ソフトテニス	伊藤 隼	○令和元年度全国高等学校総合体育大会 出場 ○2019年度東京都高等学校東京都総合体育大会 兼全日本団体選手権予選 優勝 ○2019年度東京都高等学校春季ソフトテニス団 体選手権兼関東団体選手権予選 第3位
	ソフトボール	瑞穂チャレンジ	○第17回東京都スーパーシニアソフトボール大会 準優勝
スポーツ 奨励賞	トライアスロン	島崎 茉央	○第21回日本U15トライアスロン選手権 第7位
	軟式野球	瑞穂 ウルフファイターズ	○ジャビットカップチャンピオン大会2019 第3位

教育委員会が移転しました

瑞穂町役場新庁舎オープンに伴い、これまでスカイホールで業務を行っていた教育委員会が新庁舎3階へ移転しました。

<新庁舎>

〒190-1292

東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地

※社会教育係（旧推進係）は、引き続きスカイホールで業務を行っています。

<スカイホール>

〒190-1221

東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2475番地



組織名称の変更について

旧名称		→	新名称	
教育課	庶務係		学校教育課	庶務係
	学務係	学務係		
指導課	指導係	教育指導課	指導係	
	教職員係		教職員係	
社会教育課	推進係	社会教育課	社会教育係	
	体育係		スポーツ推進係	

※図書館図書係は、名称の変更はありません。

二小校長先生の紹介

12月1日付けで二小の校長先生が新たに着任しましたので紹介します。



二小校長 松山 大作

第35回 青少年の主張意見発表会 入賞者

11月30日にスカイホール小ホールで意見発表会が行われました。応募数730点の中から審査会を経て、入選された17名の青少年が堂々と意見発表を行いました。

●入賞者（敬称略）

小学生の部

石川 海斗（五小）
「病気になって気づいた大切なこと」



優秀賞

岡本 彩葉（五小） 角井 亜純（一小）
小林 礼永（五小） 小宮山奈那（四小）
丹生 琴美（二小） 戸谷 結真（三小）
守永 明依（二小）

最優秀賞

中学生の部

千葉ももか（二中）
「言葉」



優秀賞

荻田 若奈（瑞中）
田邊 幸大（瑞中）
丹生 光咲（二中）
徳丸 遥香（瑞中）

最優秀賞

高校・一般の部

岡本茉莉子（五小教諭）
「新しい時代を生きる」



優秀賞

榎田 昭太（株式会社IHI）
滝口 裕太（町職員）
丸山友樹代（瑞穂農芸高校）

最優秀賞

第2回 瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール

普段の暮らしの中で疑問や不思議に思ったこと、興味があることの課題を見つけ、図書館資料を有効に活用して調べ、まとめ、発表することを通して、課題解決力を育成するとともに、図書館の利用価値を学ぶことを目的とし、作品を募集しました。

今回から新たに高校生の部を創設し、小・中・高校生と大人の部を合わせて4部門で326作品の応募がありました。

審査の結果、各部門を合わせて15作品の受賞が決定し、11月13日に表彰式が行われました。



●入賞者（敬称略）

賞	学校名	学年	氏名	作品名
<小学生の部>				
最優秀賞	西武学園文理小	6年	名古屋紫央	日本の美しい文化「和菓子」 Japanese Beautiful culture "Wagashi"
優秀賞	一小	6年	山田 琉利	世界で注目される昆虫食 ～未来食～
優秀賞	三小	6年	遠藤 杏恋	Yutaka Ozaki Confession For Exist ～尾崎豊の一生～
優秀賞	四小	4年	山内 心遥	みそってふしぎ！
佳作	三小	5年	鈴木 健太	国旗のフ・シ・ギ！ラクビーワールドカップ出場国を調べてみた
努力賞	二小	6年	森田 一恵	星座調べ
努力賞	五小	6年	山本 美空	すべての人に健康と福祉を
<中学生の部>				
最優秀賞	二中	3年	松隈 光希	残念なアリ
優秀賞	二中	3年	猪俣 亜海	ヒトデ☆
佳作	二中	1年	中林 巧	くじらと日本人
佳作	二中	2年	野沢 智	ミズナギドリとはどんな生き物なのか
<高校生の部>				
最優秀賞	瑞穂農芸高校	2年	高辻みらい	実用動物で犬でダックスフンドでそしてアイちゃんさらに「ダックスフン度」
優秀賞	瑞穂農芸高校	1年	太田 晴菜	麴の未来を知るために
<大人の部>				
最優秀賞			中村 珠恵	消しゴムから消しカスが出るのは、なぜか？
優秀賞			高橋 公江	カイコ

瑞穂町の図書館をつくるワークショップ

瑞穂町図書館改修基本計画を策定するにあたり、3回のワークショップを通じて延べ106人の皆様にご参加いただきました。

瑞穂町以外の市町村にお住まいの方も含め、小学生、中学生、高校生から大人まで、幅広い年齢層の方々にご参加いただき、瑞穂町に住んでいる住民では気が付かない瑞穂町の魅力やアイデアなどのご意見もいただきました。様々なご意見などをもとに、よりよい図書館づくりを目指します。



ICT教育環境整備

○パソコン等のICT機器を活用した授業を効果的に行えるようにするため、全小・中学校の教室および体育館に無線LANを設置しました。

○二小、四小、五小において、平成24年度に整備した教育用パソコンが老朽化したため、機器の更新を行いました。キーボードを取り外してタブレットとしても利用可能な2 in 1パソコンを導入しました。

○一小、三小において、教育用タブレット端末を導入しました。

○児童に対し、映像を通して理解を深める学習を進めるため、大型表示装置（テレビモニター）を各小学校の教室に設置しました。

※大型表示装置の購入については、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用しています。



❖ 瑞穂町郷土資料館 けやき館.....特別展「瑞穂の山車建築」

11月5日～12月8日

瑞穂町郷土資料館は、令和元年11月に開館5周年を迎えました。この特別展は、その記念事業の一環として行われたものです。町内には、現在5台の山車が受け継がれています。展示は、山車建築の著名な研究者で、元瑞穂町文化財保護審議会臨時委員でもあった相原悦夫氏の監修のもと、山車を所有している殿ヶ谷、石畑、箱根ヶ崎、高根、長岡の各地域をはじめ、周辺自治体の関係者の協力を得て実施しました。

展示では、この地域特有の「八王子型一本柱人形山車」として、明治時代からの由緒を持つ殿ヶ谷や石畑の山車から、戦後に改修・新造された箱根ヶ崎や高根、長岡の山車、町内より他地域に譲られた山車まで、大型パネルでの写真展示を行いました。さらに、実際に使われている彫刻類、そして今回が初公開となる貴重な古文書なども加え、それらより見えてくる山車建築の歴史や文化について紹介しました。地域において身近な存在といえる山車ということもあり、関係者ばかりでなく一般の方からも好評を得ました。

期間中は、開館5周年記念式典の一環として、相原悦夫氏の講演のほか、町内5団体によるお囃子の披露、計2回のギャラリートークなどを行いました。



❖ 耕心館.....第226回 耕心館サロンコンサート

クリスマスコンサート 国立音楽大学合唱団カンマーコール演奏会

12月21日

耕心館では優れた文化・芸術にふれる場として、毎月1回サロンコンサートと題してクラシックの音楽会を開催しています。12月の公演は、国立音楽大学の声楽科専攻の学生を中心にメンバーが構成されている「国立音楽大学合唱団 カンマーコール」の皆様にご出演いただきました。

前半はイタリアやドイツの歌曲を中心とした重厚で美しい旋律の楽曲、後半はピアノの連弾から始まり、「クラリネットをこわしちゃった」や「ソーラン節」、「クリスマスソングメドレー」など聴きなじみのある楽曲を演奏されました。多くのお客様に来場いただき、年の瀬の音楽会をくつろぎながら楽しまれていました。



What's your dream? ～あなたの夢は何ですか？～

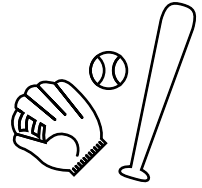
町内の小中学生にインタビュー形式で将来の夢を聞くコーナーです。



第15回：一小 6年生 ^{なかしま} 中島 ^{こうだい} 孝大くん

学校では情報委員会の副委員長、球技クラブの副クラブ長をつとめ、町内少年野球チームの瑞穂ウルフファイターズでは外野手として活躍をしている中島くんにインタビューを行いました。

(瑞穂ウルフファイターズは、今年度、出場大会で優れた成績を収め、瑞穂町スポーツ奨励賞を受賞しています。)



▶あなたの夢は何ですか？

プロ野球選手になることです。応援している読売ジャイアンツのユニフォームを着てプレーしたいです。

▶野球をはじめたきっかけは何ですか？

体験野球教室でバッティング練習をした時、ボールを上手く打てたのがうれしく、野球が楽しいと思えたので、少年野球チームに入りました。

▶夢が叶いプロ野球選手になったら、どのようなことがしたいですか？

日本でみんなに知られるような有名な選手になりたいです。最終的には、日本代表(侍ジャパン)に選ばれ、大きな大会にも出場したいです。

▶夢の実現にむけて、今頑張っていることはありますか？

休日のチーム練習以外にも、素振りを毎日150回したり、近くの広場でバッティングや守備練習をするなど、自主練習を頑張っています。

教育委員会委員談話

第20回：瑞穂町教育委員会 委員 村上豊子

これから社会で求められる人材は、自らの才能だけでなく他者の才能を引き出しチームとしての成果を高められる人と言われています。それは、主体的で対話的な深い学びを通して培われる力でしょう。

まず主体性が求められているのです。子どもの主体性を伸ばすにはどうしたらいいのだろう。特別な習い事が必要なのか？それらしい書籍を探して読んでみようか？

私は、保護者ができる大切なことは、子どもに「応援しているよ」という気持ちを与えることだと思います。「そんなのとっくにやっています」という方も、子どもにどんな言葉をかけているか振り返ってみてくだ

さい。良かれと思ってダメ出しを繰り返していませんか。失敗は成長の機会と思えていますか。子どもにとって「体験は最大の教師」です。過保護や過干渉でその機会を奪っていませんか。親の理想を押しつけていませんか。

悩まずに子育てした人はいません。子育ての結果は遠い先にあります。子どもの育つ力を信じ、共に育つ覚悟の時間の積み重ねの先に幸せを感じる時間が待っています。



教育委員会定例会・臨時会報告

前号でお知らせした以降、9月から12月まで定例会を4回、臨時会を2回開催しました。

主な議決事項、報告事項は、次のとおりです。

＜議決事項＞

- ・令和2年度使用小学校特別支援学級教科用図書採択の追加について
- ・瑞穂町教育委員会教育長職務代理者の指名について
- ・瑞穂町立小・中学校の管理職の任命に関する内申について
- ・令和元年度一般会計補正予算(第4号)の原案中教育に関する部分の意見聴取について
- ・瑞穂町教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則
- ・瑞穂町教育委員会事務局処務規則の改正に伴う瑞穂町教育委員会規則の整備に関する規則
- ・瑞穂町適応指導教室設置要綱の一部を改正する告示
- ・瑞穂町図書館処務規則の一部を改正する規則

＜報告事項＞

- ・令和元年度瑞穂町文化賞表彰被表彰者について
- ・令和元年度瑞穂町スポーツ賞表彰被表彰者について
- ・瑞穂町教育委員会事務局職員の人事異動について
- ・瑞穂町いじめ問題調査委員会委員の委嘱について
- ・瑞穂町立小・中学校の管理職の退職の報告について
- ・令和2年度一般会計教育費予算の編成について
- ・町民体育祭の今後について
- ・瑞穂町自然保護等指針(平成30年度調査)のまとめについて

教育委員会の会議は、毎月1回(原則として、第4木曜日)開催し、傍聴することができます(非公開の事項を除く)。

開催日時および会場は広報みずほに掲載されます。また、ホームページから開催内容や過去の会議録を見ることができます。

【問合せ 学校教育課庶務係 ☎557-6682】